

xAI ドキュメントガイド

主要なポイント

- 利用可能なドキュメントに基づくと、xAI が関数呼び出し、構造化された出力、他のプロバイダーからの移行に関するガイドを提供している可能性が高いです。
 - 最近の情報源で明示的に言及されていないため、xAI が並列関数呼び出しをサポートしていない可能性が高いと研究は示唆しています。
 - 証拠は、xAI の API が OpenAI および Anthropic SDK と互換性があることを示しており、移行が容易になる可能性が高いです。
-

関数呼び出し

xAI の関数呼び出し機能により、モデルは外部ツールと相互作用し、API からのデータ取得などのタスクを実行することができます。例えば、天気を尋ねると、モデルはそのデータを取得するために関数を呼び出すことができます。この機能は、AI を既存のシステムと統合するアプリケーションを構築するために不可欠です。

構造化された出力

構造化された出力は、モデルの応答が特定の形式（例えば、JSON）に従うことを保証し、一貫したデータが必要なアプリケーションにとって重要です。スキーマを定義すると、モデルはそれに従い、統合がスムーズになります。

他のプロバイダーからの移行

他の LLM プロバイダーから移行するユーザーのために、xAI のガイドは、OpenAI や Anthropic のような熟知の SDK を使用することを提案しています。ベース URL (<https://api.x.ai/v1>) と API キーを変更するだけで、この互換性により移行が容易になります。特に、これらのツールを既に使用している開発者にとっては、移行が容易になります。

予期せぬ詳細：並列リクエストに関する情報が限られている

xAI は多くの機能をカバーしていますが、並列関数呼び出し（複数の関数を一度に呼び出す）は、現在のデータに基づいてサポートされていないように見え、他のプラットフォーム（例えば、OpenAI）と同様の機能を期待するユーザーにとって驚きかもしれません。

アンケートノート：xAI ドキュメントガイドの包括的な分析

このノートは、関数呼び出し、並列リクエスト、構造化された出力、他のプロバイダーからの移行に関する xAI のドキュメントガイドに焦点を当てた詳細な検討を提供します。この分析は、2025 年 2 月 28 日に実施されたウェブ検索に基づいており、xAI の機能を活用しようとする開発者やユーザーのための専門的な概要を提供することを目指しています。

xAI ドキュメントの概要 Elon Musk が率いる xAI は、AI を通じて科学的発見を進めることを目指しており、ドキュメントは docs.x.ai/docs で提供されています。このプラットフォームには、サブディレクトリ /guides/ を通じてアクセスできるさまざまな機能のガイドが含まれています。しかし、一部のページへの直接アクセスが制限されているため、この分析は検索結果と他の AI プラットフォームとの類似点に依存しています。

関数呼び出し：詳細な洞察 関数呼び出しは、AI モデルを外部ツールと統合するための重要な機能であり、ユーザーのクエリに基づいてモデルが関数を呼び出すことを許可します。xAI のガイド Function Calling - Guides | xAI Docs は、チャットリクエストに関数呼び出しを追加する方法についてのガイドとして説明されています。直接のコンテンツにはアクセスできませんでしたが、検索結果と一般的な AI の実践に基づく、名前とパラメータを持つ関数を定義し、モデルがそれを呼び出すタイミングを決定し、JSON 形式で引数を返すことができるようになります。これは、OpenAI のアプローチと似ており、GPT-4 のようなモデルが天気のカエリや API 統合などのタスクを処理することができます。

関連する検索結果、例えば How to use function calling with Azure OpenAI Service は、関数呼び出しがツールを指定し、モデルが呼び出しを決定することを示しており、これは期待される xAI の機能と一致しています。この機能は、リアルタイムデータをフェッチするチャットボットなど、動的な相互作用が必要なアプリケーションにとって不可欠です。

並列リクエスト：分析と不確実性 並列関数呼び出しは、モデルが一度に複数の関数を呼び出す機能であり、OpenAI や Google などのプラットフォームでサポートされており、遅延を減少させます。しかし、「xAI 並列関数呼び出し」の検索結果は明示的なサポートを示していません。例えば、Understanding Parallel Function Calling in OpenAI は、OpenAI と Google でサポートされていることを示していますが、xAI のドキュメントには言及されていません。さらに、Function Calling | liteLLM は、xAI の Grok-2 が関数呼び出しをサポートしていることを確認していますが、並列機能については言及していないため、2025 年 2 月までには利用できない可能性があります。この不確実性は注目に値し、ユーザーは競合他社との機能の一貫性を期待するため、xAI の公式ソースからの追加の検証が推奨されます。

構造化された出力：包括的なガイド 構造化された出力は、モデルの応答が事前に定義された JSON スキーマに従うことを保証し、一貫したデータ形式が必要なアプリケーションの信頼性を向上させます。ガイド Structured Outputs - Guides | xAI Docs は、構造化された出力モードの使用方法についてのガイドとして説明されています。コンテンツへのアクセスが制限されているため、検索結果と OpenAI の Introduction to Structured Outputs | OpenAI Cookbook との類似点に基づく、xAI はユーザーがスキーマを定義し、モデルがそれに従っ

て出力を生成することを許可している可能性があります。これは、データ入力、情報検索、複数ステップのワークフローなど、出力の一貫性が重要なアプリケーションにとって特に有益です。

例えば、How to use structured outputs with Azure OpenAI Serviceは、関数呼び出しとデータ抽出にその使用を強調しており、これは xAI のアプローチと似ている可能性があります。この機能は、出力の一貫性が重要なアプリケーションを構築する開発者にとって特に有益です。

他のプロバイダーからの移行：ステップバイステップのガイド 他の LLM プロバイダーからの移行は、ガイド Welcome to the xAI documentation - Migration で扱われており、検索結果は OpenAI および Anthropic SDK との互換性を示唆しています。ドキュメントは、ユーザーがこれらの SDK を利用することを提案しており、安定性を重視して OpenAI を推奨し、ベース URL を `https://api.x.ai/v1` に設定し、コンソールから xAI API キーを使用することを推奨しています。メッセージを送信する際には、Grok モデル名を指定します。この互換性により、OpenAI や Anthropic を既に使用している開発者にとって移行がスムーズになります。

例えば、ガイドには「Grok の一部のユーザーは他の LLM プロバイダーから移行しています。xAI API は、OpenAI および Anthropic SDK と互換性がありますが、それぞれの SDK で提供されない特定の機能は除外されます。」と記載されています。このアプローチは開発者に優しく、業界の標準に準拠し、再構成の努力を最小限に抑えます。

比較表：AI プラットフォーム間の機能サポート xAI の提供するものを理解するために、以下に OpenAI との比較を示します。

機能	xAI サポート (2025 年 2 月)	OpenAI サポート
関数呼び出し	はい、OpenAI と似ている可能性	はい、よく文書化されている
並列関数呼び出し	不確実、おそらくいいえ	はい、一部のモデルで
構造化された出力	はい、スキーマに従う	はい、JSON スキーマで
移行の互換性	はい、OpenAI/Anthropic SDKs	N/A、ネイティブプラットフォーム

この表は、xAI の互換性とコア機能の強みを示しており、並列関数呼び出しのサポートがないことが高度な使用ケースに影響を与える可能性があります。

結論と推奨事項 xAI のドキュメントには、関数呼び出し、構造化された出力、移行に関する重要なガイドが含まれており、開発者に対して明確な指示が提供されています。しかし、並列関数呼び出しの明示的なサポートがないことが潜在的な制限となり、ユーザーは xAI の最新の更新を確認することを推奨します。移行については、既存の SDK を利用することでプロセスが簡素化され、OpenAI または Anthropic から移行するユーザーにとって xAI がアクセスしやすくなります。この分析は、2025 年 2 月 28 日に実施され、xAI の機能を理解するための基礎を提供し、最新の詳細については `docs.x.ai/docs` でさらに探索することを推奨します。

主要な引用

- [Function Calling - Guides xAI Docs about adding function calling](#)
- [Structured Outputs - Guides xAI Docs on using structured output mode](#)
- [Welcome to the xAI documentation Migration guide](#)
- [How to use function calling with Azure OpenAI Service](#)
- [Introduction to Structured Outputs OpenAI Cookbook examples](#)
- [How to use structured outputs with Azure OpenAI Service](#)
- [Function Calling liteLLM documentation on model support](#)
- [Understanding Parallel Function Calling in OpenAI Instructor concepts](#)